

令和2年度第2回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録(案)

日時: 令和2年10月17日(土)10:00~12:00

場所: (新型コロナウイルス感染防止対策のため, ZOOMにてオンライン開催)

出席者: 飯田裕貴子, 落合孝則, 齊藤宏之, 津田洋子, 中原浩彦, 中村 修, 中村憲司, 橋本晴男, 原邦夫, 宮内博幸, 山野優子(敬称略, 五十音順)

議題

1. 第30回全国協議会(オンライン開催, 2020/11/20~22)について
2. 第94回学会(松本, 2021/5/19~21)の企画について
3. 第31回全国協議会(2021/12/2~4, 津)の企画について
4. 令和3~4年度の新体制案について
5. 次年度計画について
6. 表彰委員会より
7. 第二回拡大幹事会の日程調整
8. その他

1. 第30回全国協議会(オンライン開催, 2020/11/20~22)について
協議会は, オンデマンドでいつでも参加できるスタイルを取る旨, 宮内委員より報告があった。
 - ・産業衛生技術シンポジウム: ZOOM録画作成作業は業者に委託しており, 21日に録画を開始予定。
 - ・専門研修会: Powerpointに音声を入れる方式で, 実施する。資料は作成完了している。
 - ・4部会合同シンポジウム: 予定通り進捗している。
 - ・自由集会企画「技術部会長と話そう」: ライブで実施するため, 委員も積極的に参加して盛り上げる。
2. 第94回学会(松本, 2021/5/19~21)の企画について

運営全般

- ・一両日中に, 運営の方針が発表される予定である。
- ・現時点では, ハイブリッド方式で実施し, 現地では人数制限を行う見込みである(山野副部会長)。
- ・参加申込先着順, 例外なしとなる見込み。但し, 一般演題の口演演者については申込順によらず参加可となる見込み。
- ・部会では企画を行わないが, メイン会場傍に, 約20室を確保したので, 自由集会で使用可能。
- ・学会に参加できる人数が制限されるため, 学会会場で企画を実施しても参加できない方が多くなるのが予想される。そのため, ハイブリッドで実施する(現地から ZOOM 配信する)ことを考えるべきとの議論があった。

産業衛生技術シンポジウム:

- ・タイトルは, 「環境中のウイルス飛沫拡散予測とマスクの効果(仮題)」とする。
- ・内容は, 以下の構成を素案とする。
 1. 「富嶽」を用いた飛沫拡散計算 坪倉(理研) あるいは共同研究者
 2. 一般的に用いられているマスクの防護性 飯田
 3. マスクメーカーの知見 (興研 久保田さんに可否を打診する)
- ・理研の坪倉さん参加について, 理研に相談する(橋本)。
- ・興研・久保田さんに, 発表可否を確認する。

専門研修会

- ・タイトルは, 「感染防止のための室内換気/その予測・評価(仮題)」とする。
- ・内容は, 以下の構成を素案とする。
 1. 換気シミュレーターの開発 貴志(みずほ総研)
 2. シミュレーターを用いた実例 山内(昭和大)

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 3. 換気における CO ₂ と粒子の挙動 | 奥田(慶応大) |
| 4. 換気と感染の相関検討 | 橋本(東工大) |

3. 第31回全国協議会(2021/12/2~4, 津)の企画について
企画内容は、次回の委員会で検討することとした。各委員は、幾つかの案を検討しておく。

4. 令和 3~4 年度の新体制案について

部会長

- ・次期部会長は、次回拡大幹事会で幹事の承認を得る。
- ・複数の候補が出た場合は投票で決める。自薦・他薦の締切は拡大幹事会の一週間前とし、次回拡大幹事会の案内を出すときにアナウンスする。

部会幹事

- ・関東の幹事を会員数の比率から考えて、現在の4名から 6 名に増員することを議論した(案添付)。
- ・4 名→6名への増員を基本案とするが、幹事は理事長が決めることになっているため、新理事長の意向を聞いて決める。
- ・4名にする場合は、事務局メンバーは幹事会に参加することになっているため、幹事から外れても実務上問題ないことから、事務局メンバーを幹事から外すことも検討する。

事務局

- ・全ての役職に、正・副を置き、常にバックアップ体制を整えることとした(案添付)。

企画委員

- ・新体制案を確認した。
- ・山内(昭和大)、藤間(AGC)が新規加入する。
- ・現状、化学物質管理に専門が偏っているため、他分野(特に人間工学分野)の新委員候補を探る必要がある。

5. 次年度計画について

予算案について議論した。

- ・コロナにより、学会形態が大きく変わったため、予算消化状況も当初案から変化している旨、中村憲司委員より報告があった。
- ・本年度予算は余っているので、今後のハイブリッド開催にて必要な PC、会議用マイク、カメラ、Zoom アカウントの購入・契約を進める。
- ・帝京大学ではハイブリッドのための機器を購入し、稼働実績があるので、参考までに機器情報を事務局に連絡する(津田)。

6. 表彰委員会より

- ・来年度の奨励賞候補について、拡大幹事会にて幹事に候補の提案をお願いするとともに、次回の委員会で議論することになった。
- ・表彰委員のうち、圓藤・土屋の両名が今期で幹事を退任となるため、後任を検討する必要がある。

7. 第二回拡大幹事会の日程調整

- ・11/17 10:00-12:00 に ZOOM で開催する。
- ・担当理事も招待する。

8. その他

- ・原委員から、学術委員会において、どのように論文を増やすかアクションプランを考えていくことが重要であり、企画を出すので意見を募る報告がされた。

以上。